

## 平成28年度 1年間の人権教育の取組〈滝窪小学校〉

### 1 研究のテーマ

互いを認め合い、伸び伸びと生きる子供の育成  
～学校・家庭・地域社会の連携を通して～

### 2 研究のねらい

互いを認め合い、伸び伸びと生きる子供を育成するために、学校・家庭・地域社会の連携した取組が有効であることを実践を通して明らかにする。

### 3 研究の内容

#### (1) 家庭・地域社会との連携

##### ① 授業公開・情報発信

学習参観や学校公開日には、全学級で道徳の授業公開を行っている。また、学校のホームページを毎日更新して、家庭や地域の方々に向けて日々の授業や行事等での子供たちの活動の様子を紹介している。



##### ② 地域ボランティア等の協力

道徳や人権教育を推進していくためには、家庭や地域社会と連携を密にしていくことが重要である。そこで本校では、「遊び場」「読み聞かせ」等で、地域や保護者の方々に、様々な面で協力していただくことにより、子供たちが地域の大人と触れ合う中で、様々な学習や体験を行う機会を設けている。



##### ③ 福祉体験

高齢者や障害者に関する正しい認識とともに、具体的に相手の立場に立って心身の状態を理解させ、家庭や地域の高齢者や障害者と関わっていくための能力や態度を養うことをねらいとして、社会福祉協議会等の協力により、1年生では手話、3年生ではブラインドウォーク、5年生では車いす体験、6年生では高齢者の運動等の疑似体験学習を行った。



##### ④ 地域のお年寄りとの交流

大胡地区で行われる「大胡地区敬老会」に児童が参加し、敬老作文の発表を行っている。また、学校の運動会で児童代表が敬老作文を読み、1年生とお年寄りが一緒に玉入れをするなど、地域のお年寄りとの交流を積極的に行っている。



##### ⑤ 地域教材や外部講師の活用

本校は、豊かな自然と学校に協力的な地域の方々に恵まれている。そこで、3年生から6年生での書写の指導の他にも、様々な教科等で地域の外部講師を招いて授業を行ったり、地域の様々な施設等で体験的な学習を行ったりしている。



また、1月には「ありがとう集会」を実施して、子供たちが地域の様々な方々に支えられていることを知り、感謝の気持ちをもつ契機としている。

なお、各学年の外部講師の活用事例は次ページに記す。

学年	内 容 （教 科 等）
1年	<p>・昔遊び（生活）</p> <p>季節の変化を感じるとともに，お正月遊びや伝統遊びを取り上げることにより，昔遊びのよさを体験を通して知ることを目的に，地域の方に来ていただき「昔遊びの会」を実施した。昔遊びを通して，人と遊ぶよさを知り，人と積極的に関わろうとする態度や，根気強く取り組もうとする活動意欲を育てている。</p> 
2年	<p>・町たんけん（生活）</p> <p>道の駅に行き，お店の人にインタビューをした後，買い物体験を行った。町たんけんを通して地域の方々と触れ合うことで，人々と関わることの楽しさに気付かせるとともに，他者を尊重する態度や気持ちを育てている。</p> 
3年	<p>・きゅうり農家見学（社会）</p> <p>滝窪小学校の周囲には田畑が多く，農業も盛んである。そこで，そうした地域の特色をいかしてきゅうりの栽培について教材化し，実際にきゅうり農家に見学に行くなど，積極的に授業の中に取り入れている。</p> 
4年	<p>・牛舎見学（総合）</p> <p>地域の特色をいかしたテーマとして，直接地域の酪農家に見学に行き話を聞くことにより，子供たちの学習意欲を高めるとともに，問題の解決や探究活動に主体的に取り組む態度を育てる。</p> 
5年	<p>・米作り（総合）</p> <p>滝窪小学校には，本格的な水田があり，5年生が総合的な学習で米作りの体験学習を行っている。田植えや稲刈りなどでは，JAの職員の方や自治会長さん，保護者の方に来ていただき，本格的な体験を行っている。</p> 
6年	<p>・調理実習・被服実習（家庭）</p> <p>家庭科では，食生活改善推進員の方々にお世話になり調理実習を行っている。各グループに1人ずつつくことで，きめ細かに指導していただいている。</p> 

#### 4 成果と課題

##### (1) 研究の成果

各教科の時間や学級活動の中で自分と異なる意見についても最後まで聞き，認め合う姿が見られるようになった。

##### (2) 今後の課題

地域社会や家庭に学校での活動を伝え広げるとともに，「あいさつ運動」などを通し，地域と一体となった人権教育を推進していく。